

今年も、そしてこれからも

平和の尊さを語り継ごう

牛久市平和の集い



戦争の悲惨さ、平和の尊さを次の世代に語り継ごうと12月8日、市中央生涯学習センター文化ホールで「牛久市平和の集い」が開催されました。

市では、夏休み期間中に市内の中学2年生が「中学生平和使節」として広島市を訪れ、原爆の被害や戦後の復興について学んでおり、今年度で3回目の実施。今回は25人の生徒(上写真)が、平和記念資料館を訪れたり、被爆者の体験談を聞いたりして戦争について学び、一人ひとりレポートをまとめ、その日の平和の集いで発表しました。生徒たちは、戦時中の生活の様子や原子爆弾による被害、現在も残る戦争の跡などについて発表し、自分たちと同年代の少年少女たちが軍需工場へ動員されたことや原爆で半径2km以内の家は全壊、全焼したこと、爆風で飛び散ったガラスの破片が体の中に入ってしまい、現在でも破片を取り除

く手術を受ける人がいることなどを、図や写真を使って分かりやすくまとめ、大きなスクリーンに映し出して説明しました。発表した牛久第二中学校の吉田友哉さんは「戦争が多くの人の体と心に深い傷を残したことを知った。そんな中でも広島が復興を遂げていくことが印象に残った」と語り、発表を聞いた70歳代の女性は「とても素晴らしい発表で涙が出た。学生はもちろん大人にも聞いてほしい内容だった」と話していました。

この日はそのほか、NHKの合唱コンクールで銅賞を受賞した牛久一中混声合唱団と全国大会で金賞を受賞したことのある土浦都和混声合唱団が「百万本のバラ」などを合唱し、見事なコーラスを披露。また、昨年引き続き、世界各地の紛争地や災害による被災地などで医療支援活動を続けている医師の桑山紀彦さんが、世界各地で出会った人々を、歌と語りと映像で紹介する「地球のステージ」を公演しました。桑山さんは「平和を考えることは、牛久のやさしいまちづくりにつながる。平和の集いを今後も続けていってほしい」とエールを送りました。



牛久一中混声合唱団と土浦都和混声合唱団による合唱



戦争の悲惨さを歌った詩を朗読

平成20年1月1日(968)号

発行・編集 / 牛久市市民活動課

〒300-1292 茨城県牛久市中央3丁目15番地1

☎029-873-2111 FAX029-873-2512

100%再生紙を使用しています。

環境に優しい大豆インキを使用しています。